

あなたの心にジャストミート6月9日メッセージ
残すな (ヨシュア 13:13)

たとえ、自分が認めていなくても、イエスを信じたすべての人は、現場灯台として召されています。現場灯台というのは、旧約のすべての祝福、イエスのすべての歴史を凝縮した単語です。世の中で、同じように生きていますが、その中から選び出された聖別された聖徒です。存在が違うので、生きる目的がちがいます。世の中で、なにを食べるか悩んで生きるのではなく、この世を生かすために派遣されている存在なのです。それを残された者、レムナントと言います。それゆえ、この世を生きる生き方も、世の人とは違います。それを信仰生活、伝道者の生活と言います。このことを契約として握り、その存在にふさわしい生活をするによって、十分に勝利することができます。現場に備えられている、すでに用意



してあることを見つけていきましょう。そのように現場灯台として喜び、味わい生きて行く出会いの祝福が与えられ、みことば運動が起き、弟子が起こされます。これが、現場の答えで

す。どんな職業でも、出会いの祝福、弟子に出会うようになります。その人中心にシステムが現場にはあります。これが、勝利する生活です。このような祝福の存在になっているので、みことばに耳を傾け、用意されている答えを見るように、神様が語られるメッセージを自分に語られているものとして心に留めましょう。

きょうの聖書箇所には、神様の命令どおりにカナンに地に入ったら、カナン人を追い払うべきなのに、追い払わなかったということが書かれています。これと同じことばが、15:63、16:10、17:12に繰り返して書かれています。追い払いなさいと言われたのに、その命令に従わず、これくらいはと思って残しておいたのです。小さいことだと思っていたのですが、それがのちにイスラエルを苦しめる大きな火種となりました。そのひとつが、のちにダビデが倒すゴリヤテが出てきた部族です。そ

のように、残しておく、サタン大きな道具になったという教訓です。現場灯台として召された私たちは、これを契約として握りましょう。

キリストで完全に終わらせるべきなのに、終わらせず、キリストを受け入れる以前のことを、そのまま握ることがあると、それが信仰生活において出てきて勝利を邪魔します。キリストが届かないなにかを残しておいてはいけません。現場灯台として召された私たちは、キリストで終わっていないところは一つありません。キリストで完了というのは、過去も、いまも、未来もすべて終わったことです。キリストによってすべて新しくなっているのに、自分自身は古いまま握っている必要はないのです。(IIコリント 5:17)カナンの征服は、キリストのこと

です。すべてキリストで終わって、残っていることはなにひとつない、キリストオンリーで、キリストに徹しましょう。キリストで十分です。条件、状況、環境と関係なく、十分に幸せだと感謝を譲らないようにしましょう。

そのとき、自分ではなく、神様のなさること、みわざ、計画のフォーカスを合わせるようになります。それが神の国オンリーです。神様がなさることを見るのです。私は十字架とともに死にました。神様の計画は、神様の力でなされます。ですから、聖霊オンリーです。この信仰告白が届かないところは捨てましょう。イエスをくらませるものは、どんなものも許してはなりません。それが現場灯台の覚悟です。過去に留まることなく、現実の厳しい状況がどうであっても、未来に不安を持つことなく、キリストですべて塗り替えましょう。過去のつらいこと、良いこと、悪いこと、そのまま残すとキリストの光が届いていないこととなります。それでは、自分のレベルのままに留まります。信じていても、昔の価値観、イデオロギーがいちばん大切な場面に出るのです。残しておいてはなりません。それが大きなわざわいの火種となります。

代表的なケースで、初代教会は迫害があった中で奇跡のみわざもあったのに、律法思想、選民思想を残していました。その結果、マルコの屋上の中からアンテオケ教会に中心が移ったのです。キリストだけは、徹底的にすべきです。道徳や倫理を残してがんに主張していると、キリストはどうでもよくなります。キリストが届かないとすべて暗やみです。キリストに徹しましょう。

そして、現場で伝道対象者を制限しないようにしましょう。キリストがいらない人は存在しません。自分の基準で考えて、キリストはいらないだろうと思ってしまうことがあります。そのようなキリストの必要から目をそらして、あいまいになることは残しておいてはなりません。キリストがいらない人はいないのです。人間の本質を見て、すべての人にキリストが必要であり、神様の時刻表によって救われるべきたましいののだと見るようにしましょう。自分がどんなに信仰生活が短く、聖書を知らなく、

人格が劣っていると思えても、キリストが必要でない人は存在しないという告白は徹底しましょう。すべての信者は伝道者で、すべての未信者は伝道対象者です。

人格や人間が完ぺきになることではありません。しかし、キリストだけは徹しましょう。自分の内のキリストが届かない部分、「でも・・・」となる部分は残しておいてはなりません。残しておいた小さなことが、混ざって、混合になり、わざわいのものになります。キリストに徹して、それでもキリスト、だからキリスト、結局キリストとなりましょう。そうすれば、このキリストにあって、恐れることも、うらやむことも、問題も、引っかかることもないようになります。キリストに徹することによって、他のすべては「どうでもいいですよ」になることを祈ります。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

ヨシュア 13:13 残すな。

なるほど/信者は、現場灯台として召され、その答えを受けることが確かなので、自分の中にキリストを制限するすべてをなくし、Only の告白に徹して、現場で伝道対象を制限しないで祈ることさえあれば勝利する。

ならば/自分の中にキリストを制限する火種を探してなくそう。福音がなくてもいいだろうと思っていた人がいたなら、伝道対象に修正しよう。すべてを譲り、キリストに徹する信者になろう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2019年6月9日)

1 部礼拝：心に定めた者、心を味わう者、心を伝える者 (ダニ 1:8-9)

世の中の人々がサタンの奴隷、捕虜、属国になったことを知って、神様のみことばを握って証人になることを心に定めるようにしてください感謝します。まことの涙、正しい涙、価値のある涙を持って、神様のみことばを握って心に定める天命を握りますように。神様のみこころを味わう召命を持って、当然、必然、絶対的な答えを受けて勝利して生かしますように。神様のみこころを伝える者として、まことの嘆きを持って、使命を果たしてただ福音だけ握って伝えますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2 部礼拝：いのちをかけた献身者は世界を変化させる (ダニ 3:16-18)

世の中の捕虜になった信徒、サタンの捕虜になった世の中を生かすいのちを持った者、いのちを生かす者、いのちをかけた者として私を召されて、世の中を変化させてください感謝します。神の子となった身分をかけて、三位一体神様のみわざ、背景である神の国の権威で暗やみを打ち砕きますように。神の国の権威でサタンを打ち砕いて、契約を回復して、その権威を説明する証人として、空前絶後の答えを味わいますように。私たちのすべてのこと、神殿建築が237カ国を生かして、癒し、サミットを立てる契約の旅程になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。